

平成 23 年度

「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」結果の概要

福祉保健部

1 調査の概要

1 調査目的・時期

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資するため、市町村の協力を得て、毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として行っているもの。

2 調査方法

市町村職員、育成指導員、民生・児童委員、PTA役員など青少年育成関係者により巡回調査を実施した。

3 調査項目

- (1) 酒類及びタバコを販売している自動販売機、コンビニエンスストアの実態
- (2) 有害図書類を販売している書店、コンビニエンスストア、自動販売機の実態
- (3) 成人向けビデオテープ等を販売・貸出している店舗、自動販売機・貸出機の実態
- (4) ゲーム場、有害がん具店の実態
- (5) マンガ喫茶・インターネットカフェの実態

2 酒類・タバコ販売

1 酒類自動販売機

	22年度		23年度		23-22比較	
設置数	652		585		△67	
23時以降販売自粛	588	90.2%	545	93.2%	△43	+3.0ポイント
未成年販売禁止表示有り	640	98.2%	569	97.3%	△71	△0.9ポイント
年齢識別装置有り	369	56.6%	337	57.6%	△32	+1.0ポイント

酒類自動販売機の設置数は減少を続けており、今年度の調査結果では、昨年度より67台減少し、585台であった。

深夜販売自粛や未成年者販売禁止表示などの自主規制は、90%を超える自動販売機で行われており、昨年度と比較すると、深夜販売を自粛しているものは3.0ポイント増加し、未成年販売禁止表示有りのものは0.9ポイント減少した。

年齢識別装置有りのものは、昨年度より1.0ポイント増加した。

2 タバコ自動販売機

	22年度		23年度		23-22比較	
設置数	5,521		4,995		△526	
23時以降販売自粛	2,216	40.1%	1,719	34.4%	△497	△5.7ポイント
未成年販売禁止表示有り	5,458	98.9%	4,921	98.5%	△537	△0.4ポイント
年齢識別装置有り	5,467	99.0%	4,951	99.1%	△516	+0.1ポイント

タバコ自動販売機の設置数は平成15年度以降減少を続けており、今年度の調査結果では昨年度より526台減少し、4,995台であった。

年齢識別装置については、タスポによるものが4,781台、その他の方法によるものが170台であり、年齢識別装置があるものは昨年度より0.1ポイント増加した。

未成年販売禁止表示有りのものは98.9%から98.5%と0.4ポイント減少した。

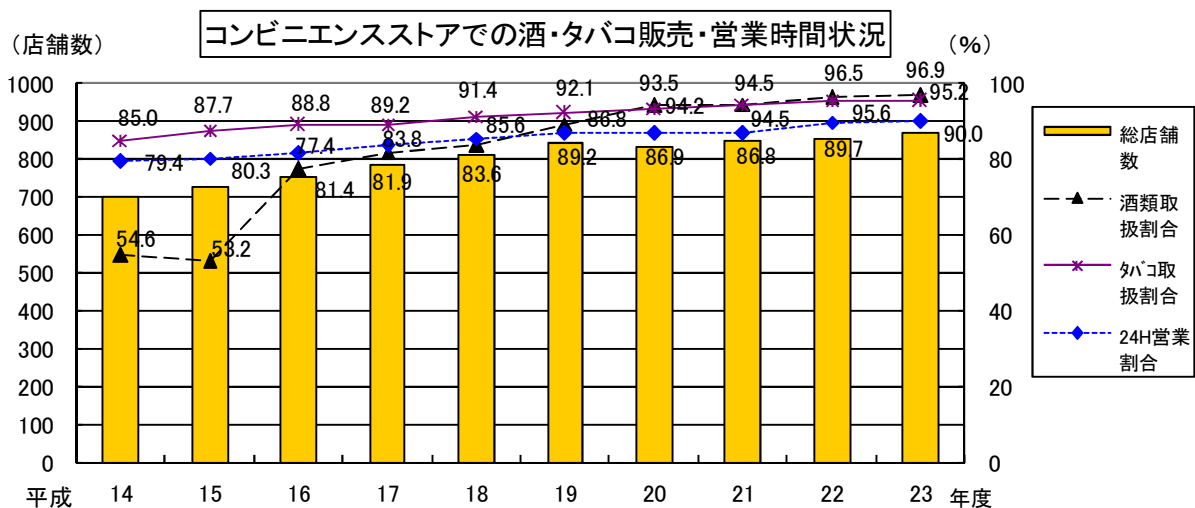
また、深夜販売自粛は40.1%から34.4%と5.7ポイント減少した。

3 コンビニエンスストアでの酒類・タバコ販売

	22年度		23年度		23-22比較	
店舗数	855		869		+14	
酒類販売有り	825	96.5%	842	96.9%	+17	+0.4ポイント
タバコ販売有り	817	95.6%	827	95.2%	+10	△0.4ポイント
24時間営業	767	89.7%	782	90.0%	+15	+0.3ポイント

コンビニエンスストアの店舗数は増加傾向にあり、今年度は869店舗で昨年度より14店舗増加した。

酒類・タバコ販売店舗数は年々増加し、95%を超える店舗で酒類・タバコの取り扱いが確認されている。



総店舗数(店)	700	725	752	786	812	843	834	848	855	869
酒類取扱(店)	382	386	582	644	679	752	786	801	825	842
タバコ取扱(店)	595	636	668	701	742	776	780	801	817	827
24H営業(店)	556	582	612	659	695	732	725	736	767	782

3 図書類取扱店

1 書店

	22年度		23年度		23-22比較	
店舗数	395		377		△18	
有害図書類有り	230	58.2%	214	56.8%	△16	△1.4ポイント
上記中未区分陳列	45	19.6%	36	16.8%	△9	△2.8ポイント

書店・コンビニエンスストアにおける青少年に有害な雑誌やビデオの区分陳列については、平成12年7月から青少年健全育成条例による規制が強化された。

書店のうち、有害図書類取扱店は56.8%である。

なお、有害図書類取扱店のうち、未区分陳列店舗は16.8%で昨年度より2.8ポイント減少した。

2 コンビニエンスストア

	22年度		23年度		23-22比較	
店舗数	855		869		+14	
有害図書類有り	798	93.3%	811	93.3%	+13	±0ポイント
上記中未区分陳列	38	4.8%	47	5.8%	△9	+1.0ポイント

コンビニエンスストアにおける有害図書類の取扱いは90%を超えている。

なお、有害図書類取扱店のうち、未区分陳列店舗は5.8%で昨年度より1.0ポイント増加した。

4 図書類自動販売機

区分	自販機 総数	うち 休止中	有害図書 類に該当	収納物				連絡表示 有	設置場所の環境			
				図書	ビデオ テープ等	がん具	下着		学校等から 200m以内	住居系 用途地域	駅及び 繁華街	その他 の地域
23年	279	11	168	75	219	78	38	242	6	44	3	226
構成比%	(100.0)	(3.9)	(60.2)	(26.9)	(78.5)	(28.0)	(13.6)	(86.7)	(2.2)	(15.8)	(1.1)	(81.0)
22年	286	5	162	86	219	95	41	252	7	54	3	222
構成比%	(100.0)	(1.7)	(56.6)	(30.1)	(76.6)	(33.2)	(14.3)	(88.1)	(2.4)	(18.9)	(1.0)	(77.6)
増減数	△7	6	6	△11	0	△17	△3	△10	△1	△10	0	4
増減率(%)	(△2.4)	(120.0)	(3.7)	(△12.8)	(-)	(△17.9)	(△7.3)	(△4.0)	(△14.3)	(△18.5)	(-)	(1.8)

図書类等自動販売機の調査台数は、前年度と比較すると7台減少し、279台であった。収納物はビデオテープ等(DVD含む)が最も多く78.5%、次いでがん具28.0%、図書26.9%となっている。また、有害図書類を収納している自動販売機は全体の60.2%であった。

5 ゲーム場 <隔年調査>

	21年度		23年度		23-21比較	
店舗数	150		124		△26	
ゲーム専門店	64	42.7%	50	40.3%	△14	△2.4ポイント
ゲームコーナーのある大型店	58	38.7%	49	39.5%	△9	+0.8ポイント
ゲーム機設置の小売店	28	18.7%	25	20.2%	△3	+1.5ポイント

ゲーム場の総店舗数は、平成21年度は150店舗であったが、今年度は124店舗で26店舗減少した。

6 有害がん具 <隔年調査>

	21年度		23年度		23-21比較	
店舗数	93		96		+3	
エアースoftガン	68	73.1%	68	70.8%	±0	△2.3ポイント
ガスガン	42	45.2%	40	41.7%	△2	△3.5ポイント
クロスボウ	1	1.1%	0	0%	△1	△1.1ポイント
おとなのおもちゃ	27	29.0%	29	30.2%	+2	+1.2ポイント

有害がん具取扱店の総店舗数は、平成21年度は93店舗であったが、今年度は96店舗で3店舗増加した。

7 マンガ喫茶・インターネットカフェ

	22年度		23年度		23-22比較	
店舗数	24		31		+7	
24時間営業	20	83.3%	27	87.1%	+7	+3.8ポイント
うち、18歳未満深夜入場制限有り	19	95.0%	25	92.6%	+6	△2.4ポイント
うち、16歳未満深夜入場制限有り	16	80.0%	24	88.9%	+8	+8.9ポイント
青少年席指定有り	10	41.7%	8	26.7%	△2	△15.0ポイント
フィルタリング導入	9	37.5%	12	40.0%	+3	+2.5ポイント

マンガ喫茶・インターネットカフェの総数は7店舗増加し31店舗であった。また、24時間営業の店舗数も20店舗から27店舗に増加した。

なお、インターネットカフェのうち、青少年が利用する席を限定している店舗は昨年の10店舗（41.7%）から8店舗（26.7%）となり、フィルタリングソフトを導入している店舗は昨年の9店舗（37.5%）から12店舗（40.0%）となった。